

9月議会

有 ありた 議会だより

2014 No.32 平成26年10月31日発行



▲旧有田町伝統の名物「皿板担ぎ競争」 平成26年9月7日 有田中学校グラウンド



日本磁器誕生・有田焼創業400年
The Birth of Japanese Porcelain: Arita Ceramics 400th Anniversary

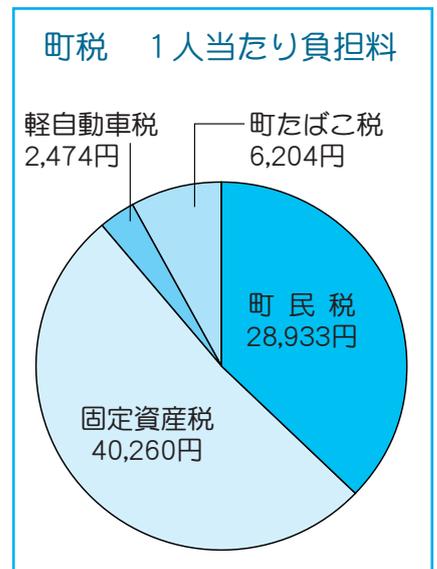
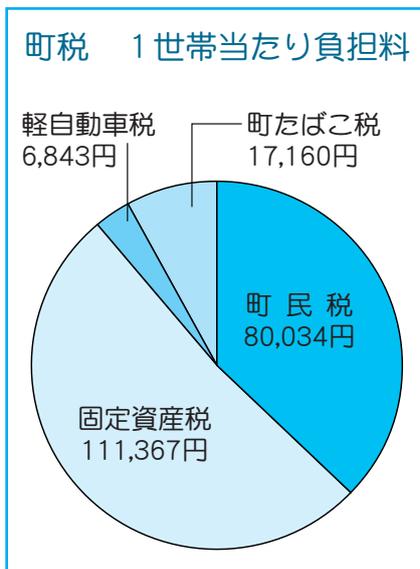
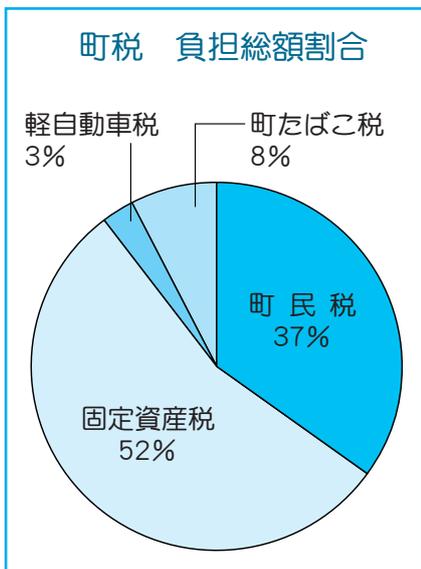
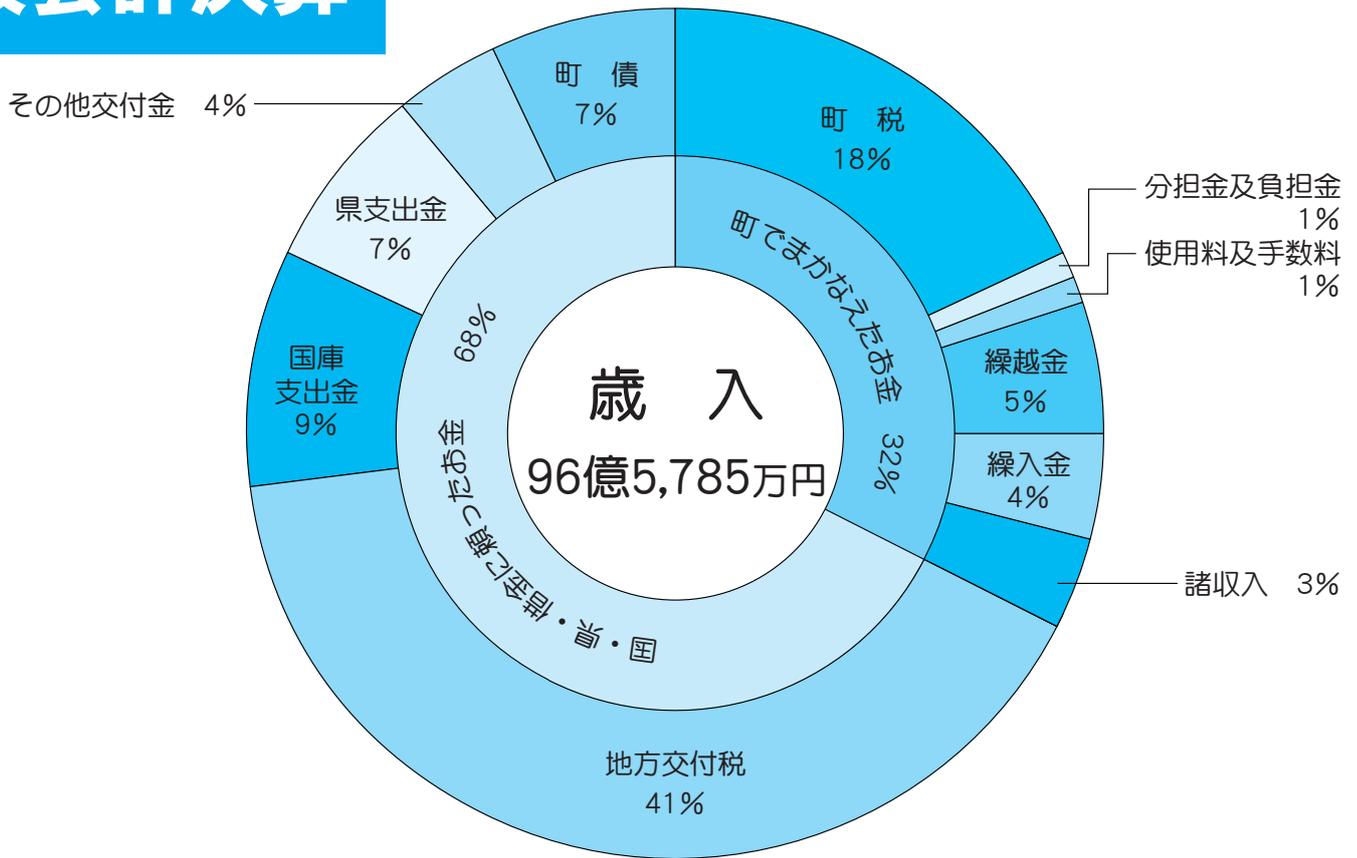
有田町では2016年に有田焼創業400年を迎えます。

H25年度 一般・特別会計決算認定

副町長を置かない特例条例の制定 5p

町政 ここが知りたい
一般質問 13人が町政を問う 9p~21p

姉妹都市35周年マイセン訪問記 23p



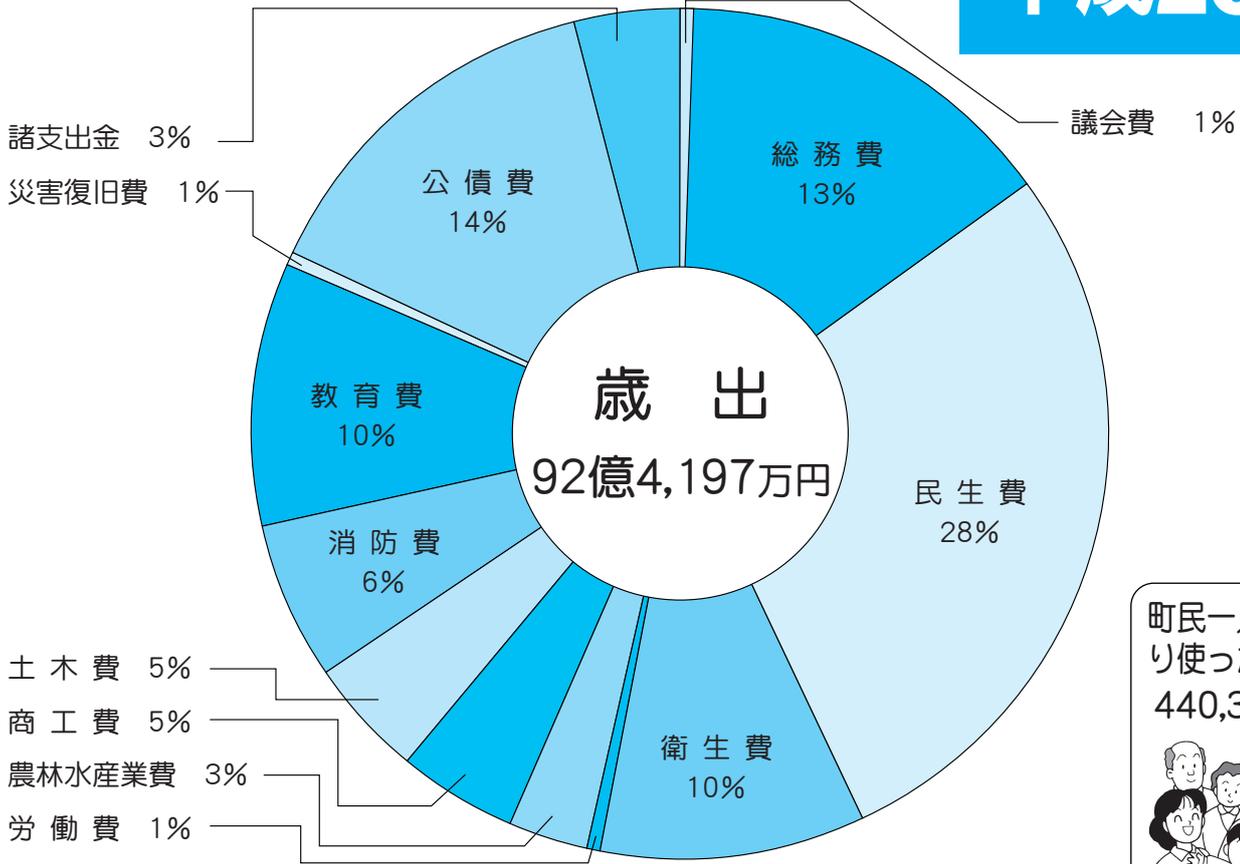
財政の健全性について (監査委員の決算審査意見書から)

一般会計は財政の規模が前年比6億1,653万円増の96億5,785万円の内、自主財源が31億5,992万円で前年比、1億3,192万円(4.4%)の増となりました。しかし自主財源の比率は、32.7%で前年比0.8ポイント低下しました。自主財源の内、一番大きい町税は収納率が改善されたにもかかわらず、1,314万円の減となっています。増加したものは、たばこ税1,469万円、軽自動車税101万円、減少した主なものは、固定資産税1,270万円、町民税1,661万円内法人分1,206万円、個人分455万円で町民の所得が減少していることを意味し法人分の減少は経営の厳しさを表しています。依存財源は64億9,793万円で前年比4億8,461万円(8.1%)の増で、その割合は67.3%で0.8ポイントアップしました。依存財源の内、将来的に負担となる町債の発行は7億849万円で、前年比2億6,199万円の増加となりましたが、償還額も、11億6,948万円(内繰上償還2億9,886万円)で1億6,100万円減少し未償還額は94億1,068万円となりました。

財政の健全性の判断指標となる財政指標は全体的に改善され健全性は向上してはいますが、健全な財政であると言える状況ではありませんので引き続き改善に努めて下さい。

支出総額 92億4,197万円

平成25年度



町民一人当たり使った会計
440,388円

●町民一人当たり使った会計の内訳（一般会計）

※金額は円単位未満切捨てのため合計は一致しません。

議会費 5,034円 議員報酬など 	総務費 58,803円 総務管理、財産管理、地域振興等 	民生費 123,849円 児童、高齢者、障害者の福祉の推進など 	衛生費 44,645円 ゴミ、し尿の処理や健康増進事業など 	労働費 673円 労働者の福祉、婦人の地位向上の委託 	農林水産業費 11,995円 農業、林業、畜産業などの振興
商工費 20,080円 商業、観光の振興 	土木費 22,821円 道路、公園、公営住宅の整備、管理 	消防費 26,380円 消防活動や救急業務等 	教育費 45,945円 学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進 	災害復旧費 1,004円 災害の復旧 	公債費 62,961円 これまでの施設整備などで借ったお金の返済 諸支出費 16,190円 公営企業に対する補助金等

歳入歳出について(監査委員の決算審査意見書より)

※金額は万円単位未満切捨てのため、合計金額が異なる場合があります。

一般会計	歳入	96億5,785万円	前年比	6億1,653万円 (6.8%) 増
	歳出	92億4,197万円	前年比	7億1,256万円 (8.4%) 増

特別会計(黒牟田宅地分譲事業特別会計、有田南部工業団地造成事業特別会計、医療福祉特別会計)

	歳入	58億 814万円	前年比	4億 172万円 (7.6%) 増
	歳出	56億7,705万円	前年比	3億3,906万円 (6.4%) 増
合計	歳入	154億6,600万円	前年比	10億2,826万円 (7.1%) 増
	歳出	149億1,903万円	前年比	10億5,163万円 (7.6%) 増

今後もこの程度の伸びは予想され財政が厳しくなる中での負担の増は避けられないとの認識上で今後の財政運営に努めて下さい。

平成26年度一般会計予算 7億6,292万円を補正 総額91億5,945万円に

主な事業として、町立保育園新築事業に4,800万円、感染症対策事業（小児個別予防接種委託料・高齢者肺炎球菌予防接種委託料等）に750万円などを補正した。

(単位:万円)

事業名	内容	金額
財政調整基金	計画的な財政運営を行うための積立金。	28,444
庁舎等施設整備基金	庁舎等施設整備の財源としての積立金。	5,500
財産管理事業	黒牟田町有地道路改良工事等。	262
防災備蓄品事業	防災備蓄品（毛布・水・乾パン）購入費。	354
ふるさと納税推進事業	寄付者への謝礼、ふるさと応援基金積立金、400年祭基金積立金。	496
掲示板設置等推進事業	掲示板設置等補助金。	142
観光公園駐車場整備事業	唐船城駐車場整備工事請負費等。	503
有田小学校改築事業	家屋調査業務委託料、学校用地購入費、移転補償費。	10,197
町立保育園新築事業	取付道路工事、統合保育園建設外構工事費等。	4,799
感染症対策事業	小児個別予防接種、高齢者肺炎球菌予防接種委託料等。	750
農地農業用施設災害復旧事業	工事請負費。	1,979
長期債元金償還費	長期債元金償還金（繰上償還分）。	13,770

特別会計・企業会計補正

○特別会計	国民健康保険特別会計	7,654万円	(財政調整基金積立金、償還金等)
	後期高齢者医療特別会計	19万円	(後期高齢者医療広域連合会納付金)
	介護保険特別会計	3,995万円	(基金積立金、償還金等)
	黒牟田宅地分譲事業特別会計	62万円	(一般会計繰出金等)
	有田南部工業団地造成事業特別会計	270万円	(設計、測量、監理委託料等)
○企業会計	公共下水道事業	7,446万円	(収益、資本勘定)
	浄化槽整備推進事業	59万円	(職員の給料、手当、組合負担金等)
	水道事業	618万円	(配水管布設、排水管増口径工事費等)

平成26年度 第2回定例会における議案の審議結果

平成26年度第2回定例会における議案の審議結果は下記の通りでした。

議案順位	提 出 議 案	採決の結果
1	平成25年度一般会計決算認定及び同特別会計決算認定について	賛成全員
2	副町長を置かない特例条例の制定について (主な反対意見) 1. 早急に副町長を置き、町長はトップセールスをして欲しい。 2. 当分の間ではなく1日でも早く置くべきである。 ◎反対議員7名 (立部、手塚、福島、原田、松永、松尾佳、梶原 各議員) (主な賛成意見) 1. 条例がない現状は地方自治法に違反だ。違反を是正するのが議会の役目だ。 2. 「町政の体制と機構改革のめどをつける来年3月まで」と町長も期限を示した。 ◎賛成議員8名(久保田、蒲原、古賀、池田、金武、今泉、藤、浦川 各議員)	賛成多数
3	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成全員
4	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成全員
5	放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成全員
6	平成26年度一般会計補正予算(第5号)について (主な反対意見) 有小の移築議案は審議・可決もされていない。民有地の買い上げ予算の計上は本末転倒だ(池田議員)。	賛成多数
7	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員
8	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員
9	介護保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員
10	黒牟田宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員
11	南部工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員
12	公共下水道事業会計補正予算(第2号)について	賛成全員
13	農業集落排水事業会計補正予算(第2号)について	賛成全員
14	浄化槽整備推進事業会計補正予算(第2号)について	賛成全員
15	水道事業会計補正予算(第2号)について	賛成全員
16	手話言語法制定を求める意見書(案)について	賛成全員
17	教育予算の拡充を求める意見書(案)について	賛成全員
18	ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書(案)について	賛成全員

※各議案は、関係委員会で予備審査をして本会議に付されます。予備審査の詳細は別掲する委員会報告をご覧ください。

総務常任委員会

(委員会構成議員 6人)

委員長 松永 俊和
副委員長 原田 一宏

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

応じた交通施策でデマンドタクシーを試験的に導入した。

▼平成25年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定について
原田委員 町税の滞納起源と不納欠損について説明を。

税務課長 督促状が届いた時点で滞納である。滞納処分をする財産がないと

きなどに法律に基づき滞納処分の執行停止を行うが、その状態が3年続くと不納欠損処理を行う。ただし、会社の倒産や個人事業主の廃業などにより財産が無くなった場合は、執行停止後3年を待たずに不納欠損を行うことが出来る。

原田委員 コミュニティバ

ス事業は事業委託料が増加傾向、反面利用者は減少傾向。4月から大山地区にデマンドタクシーを取り入れているが、今後の取り組みは。

まちづくり課長 平成26年度からバス2台と地域に

過去バスダイヤ改正や利用料金の改定時には、一旦利用率の減少傾向にある。今年度はバスが1台減少、伊万里有田共立病院への便数が減少。内山地区からの直通便がなくなつた。

昨年度、事業費全体の実績額約330万円である。平成26年度決算見込み額は約240万円と大山デマンドタクシーが7月末までに約80万円ほどになつている。他の交通機関と共存も必要だが、今後運行体制を根本的に見直し、利用増を見込める策を検討する。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町に副町長を置かない

特例条例の制定について

原田委員 町長は働きやすい行政を目指すため副町長の職務を課長にと答弁、これまでの業務に支障があったのか疑問が残る。町長はトップセールスを

してほしい。

松尾委員 議会の質疑で、「年度末まで、庁舎内の体制が見えた時に副町長を設ける」とも答弁されたが、やっと動きだした40年事業のトップとして専念してほしい。

藤委員 6月に自治法違反を指摘され、法令違反の是正にこの条例を提案したのでは。

池田委員 各課長への決裁権限はどの様に移譲しているか。課長の職務が増えているのか。

総務課長 課長専決の案件以外はすべて町長が決裁。各課長に権限移譲はない。副町長決裁権限はすべて町長が行う。

池田委員 各課長が自分の意見をストレートに町長に反映されてよくなつたと思うか。

総務課長 町長に直接決裁を回すのではなく、事前に確認やチェックをしている。ある程度方向性の調整を行っている部分はある。

手塚委員 町長の出張報告で国や県へのトップセールスがない。時間がないのでは。町民は期待して

いるが。

総務課長 国会議員との会談は11月以降に集中。11月に一週間ほど上京し、トップセールスをすると思われる。

池田委員 仮に条例の制定を反対した時は、総務課長 法律で副町長を置くことになつている。条例で置かないことが出来る。副町長を置く場合は、議会の承認をいだと同時に、追加して置かない条例の廃止を上程する。

(採決の結果) 賛成少数

▼平成26年一般会計補正予算(第5号)

原田委員 総務管理事業費のAED(自動体外除細動器)購入とは。

総務課長 4台分で、本庁舎・東出張所・健康福祉保健センター・生涯学習センターに配置。

説明 AED(自動体外除細動器)とは心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショック(助動)を与え振動の動きを戻す事を試みる医療機器である。

原田委員 耐用年数が8年、

相当の数が町内にある。部品交換で対応できないか。

総務課長 電池は5年、本体は8年、使用時に万が一対応できないトラブルを避けるために、使用期限で本体を購入する。パッドなど付属品は随時交換している。

池田委員 学校、病院、企業団体などにたくさんある。使用期限の確認や本体交換の指導を。

総務課長 総務課と健康福祉課で連携して対応する。

藤委員 文書広報費で廃棄文書リサイクル料は名簿や個人情報類などどのような処分に、また委託しているのか。

総務課長 前年度分までで591箱あった。キ口当たり59円かかる。機密文書を取り扱う専門業者に委託する。

原田委員 消防費の消防団員確保対策事業の説明を、消防団募集の宣伝事業費か。

総務課長 編み上げ靴や手袋などだ。年次計画に基づき整備する。要望も出ているので配布していきたい。

(採決の結果) 賛成全員

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 蒲原多三男

副委員長 松尾 佳昭

▼有田町特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例

今泉委員 具体的な説明を。

住民課長 全国的に深刻な待機児童の解消、子育て支援の縦割行政の解消、が大きな目的である。

梶原委員 有田町には待機児童はいない。どう変わるのか。

住民課長 条例を作り制度を熟知している段階。安定的に運営できるように制度を考える必要がある。

(採決の結果) 賛成全員

▼家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例

蒲原委員長 居宅訪問型保育は保育士と同等の資格、経験はいるかないか。

住民課長 県研修会を受け

保育士の知識をもっていること。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

梶原委員 今までとどう変わるのか。

生涯学習課長 小学校就学児童4年生までが、全学年で受け入れることになる。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成26年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

今泉議員 肺炎球菌接種予防助事業は66万円の減額だが町内の状況は。

健康福祉課長 今回から定期接種。5歳刻みで助成を行う。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成26年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

特に異論もなし。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成26年度有田町介護保険特別会計補正予算(第2号)

福島議員 介護保険給付費が約20億円。介護予防サービスの内容は。

健康福祉課長 介護予防には第一次、第二次がある。町の事業は社協へ委託し、認知症の予防をして高齢者の方に来ていただき、養面の改善を行っている。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成25年度一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

松尾委員 ひとり親家庭の印刷製本費の詳細を。

健康福祉課長 資格者証を健康福祉課で手渡ししている。

今泉議員 脳ドック健診をうけることで早めに脳疾患が判明できている。枠を大きくする考えは。

健康福祉課長 予算の関係もあるが、希望者が多い。少し枠を増やす必要がある。

蒲原委員長 父子手当があり該当者には通知を出しては。

健康福祉課長 小学6年生の医療費は該当の保護者あてにお知らせをだした。

梶原委員 熱中症対策事業520万円。扇風機を付けたが熱中症が減ったか。

教育長 数字はわからないが、今年度熱中症にかかった報告はつけていない。音の影響もなく風もきている。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成26年度一般会計補正予算(第5号)

梶原委員 町立保育園新築事業4799万円はこの工事か。

住民課長 工事費が406万円、主なものが町道改良工事780万円、遊具工事950万円、門扉フェンス80万円、グラウンド整備710万円、駐車場舗装工事800万円など。

今泉議員 児童虐待は児童側から発信できない。乳幼児に対する虐待を保健員との連携。

健康福祉課長 一カ月健診で自宅に訪問して保健師が家庭環境をチェックする。観察して発達障害が

ないかみる。保育園でも服装チェックも十分行っている。学校では毎朝健康診査。母子推進員、民生員、ソーシャルワーカー、警察と連携しケース会議を開いている。

今泉議員 天狗谷古窯跡の説明を。

文化財課長 有田焼創業400年の象徴的な窯跡として、今後は窯跡下の家屋も公有化したい。

(採決の結果) 賛成全員

このほか次の請願は、全員賛成で可決すべきものと決しました。

▼手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書

▼教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願書

▼ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡大を求める意見書の提出を求める請願書

健康福祉課長 一カ月健診で自宅に訪問して保健師が家庭環境をチェックする。観察して発達障害が

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

（委員会構成議員 5人）

委員長 久保田 均

副委員長 古賀 四郎

▼平成26年度有田町黒牟田宅地分譲事業特別会計補正予算（第1号）

立部委員 黒牟田宅地分譲の販売状況は。

まちづくり課長 111区画の内89戸販売済、今年度11件の問い合わせで2件成約、残区画も早期販売に努力する。

金武委員 一般会計持ち出し分と販売代金の差額分はどつするの

か。

総務課長 22年度に約4億760万円の繰り上げ償還を行った。このうち一般会計からの繰上償還への繰入は3億760万円。23年度は約4500万円、24年度は約1900万円、

25年度は約2300万円。合計約8780万円を一般会計に戻し、25年度末残金は約2億1980万円になる。



▲みどり坂Qタウン

金武委員 全額償還についてどかかるとか。

まちづくり課長 3年を目処に販売を果たす努力をしている。

金武委員 売却しても約1億5000万円残るが、残金は。

総務課長 全額償還は厳しい。定住により固定資産

税や住民税の収入増加を充てる事で理解を。

（採決の結果） 賛成全員

▼平成26年度有田町工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）

金武委員 設計測量監理委託料については平成22年度に完了している。

まちづくり課長 用地測量は21年度に終了しているが法務局で分筆登記するなかで境界確認の写真提出が求められたので作業委託料として補正をお願いする。

浦川委員 今後の開発予定はどつなっているのか。

まちづくり課長 誘致の目処がたつた段階で造成を検討していく。

（採決の結果） 賛成全員

▼平成25年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

浦川委員 2016年に「山の日記」が制定され、竜門が指定された。現在の竜門の管理は。

農林課長 平日の受付は職員で行い、宿泊客の受け入れはシルバーで行っている。又、登山者が多いので鳥類、植物等への対応や登山者対応は関係部署と協議したい。

（採決の結果） 全員賛成

▼平成26年有田町一般会計補正予算（第5号）

立部委員 多面的機能、農地水の取り組みで新しく始めたのはどこの集落か。

農林課長 16集落が手を上げている。

（採決の結果） 賛成全員



▲竜門の山の家

次の議案は全員賛成で可決するものと決しました。

▼平成26年度有田町公共下水道事業会計補正予算（第2号）

▼平成26年度有田町農業集落排水事業補正予算（第2号）

▼平成26年度有田町浄化槽整備事業補正予算（第2号）

▼平成26年度有田町水道事業補正予算（第2号）

《総務委員会への具申事項》

金武委員 有田小建設について一度も議決した事はないと意見が出されたが。

① 24年度当初予算耐力調査耐震判定業務委託料 600万円計上

② 24年度決算 598万5千円

③ 25年度当初予算校舎改築基本設計委託料 1509万円計上

④ 25年度決算 繰越明許費 1509万円

⑤ 25年度決算土地鑑定評価委託料 125万2千円

①～⑤の経緯があつた事を具申した。

①～⑤の経緯があつた事を具申した。

①～⑤の経緯があつた事を具申した。

唐船城址に観光シンボルを

答 先人の顕彰と歴史検証は必要



池田 榮次 議員

唐船城址と狼煙台のろしだい

町の観光シンボルを

議員 唐船山に、城と狼煙台があったことを知らせるシンボリックな施設を夢みてきた。町の観光シンボルとして40年事業を後押しできると思う。建設課長 国の補助施策等も検索したい。商工観光課長 建設・文化財両課と連携したい。

「有田」は唐船城から

議員 有田の地名は唐船城(別名 有田城)の城主に因よんでいる。有田の先祖だ。シンボルの建設で、旧両町民が共に松浦党の末裔として融和できることを期待できる。
町長 事業の節目には先人の顕彰と歴史検証は欠かせない。どのように顕彰できるか見極めたい。文化財課長 唐船城は有田氏の居城。800年の歴史があり、有田のルーツだ。遺構調査も続ける。

④唐船城は天守閣を持つ近世の城ではなく、有田川や急峻な崖を利用した中世の籠り城。大里から泉山までを支配し、千代亀城、岩谷城、深代城、黒牟田城、吉野城、吉武城などの支城に守られた。



▲物見やぐらの存在も想定される唐船城跡

有田小の改修移築

総工費は幾らなのか

議員 有田小の移築は議会承認を得ずに隣接する民有地買い上げ予算を計上している。本末転倒だ。白川保育園の併設を含め、全体で幾らかかるのか分からない。

教育長 昨年、概算を説明した後で校舎西側の山の危険性が指摘された。まだ基本設計も総工費も確定していない。

議員 内山地区は人口流出が続く。学童は80人台だと聞く。有田の新築で人口流出が減り、定住人口が増えるのか。中部小との統合や小中一貫校の建設、泉山体育館の活用等、議論が尽くされたとは言い難い。

改修・移築の必要性

議員 6月議会で、「ピアノは3月に異常なかつたのに故障していたと、前の調律師に確認せず修理を発注した責任は重い」とも指摘されたが、今の調律師は6月に引き継いで故障を発見している。重要備品の引き継ぎには教育委員会が新旧の関係者を立ち合わせ、設備の保守契約も町が責任を負うべきだ。指定管理者の交代で調律師も変われば問題は今後も起きる。町長 指摘の通りだ。今後見直したい。

歴史と文化の森公園

比較できる内容でない

議員 1億円だった運営費が指定管理者制度で400万円以下になったと主張があった。開設した平成8年は約700万円が施設の整備費だ。年毎に両町の負担は減っている。指定管理者制度の支出内容とは違う。

生涯学習課長 開設当初に設置した設備の修理費や工事費は町が別に支払っている。

議員 6月議会で、「ピアノは3月に異常なかつたのに故障していたと、前の調律師に確認せず修理を発注した責任は重い」とも指摘されたが、今の調律師は6月に引き継いで故障を発見している。重要備品の引き継ぎには教育委員会が新旧の関係者を立ち合わせ、設備の保守契約も町が責任を負うべきだ。指定管理者の交代で調律師も変われば問題は今後も起きる。町長 指摘の通りだ。今後見直したい。

議員 15年間で約10億円の維持費と今後多額の修繕費が必要だと、企業誘致やテーマパーク等への提言もあった(④開設から18年間で修繕費を含め約4億円と判明。財政課調べ)。

10億の維持費は4億円

議員 15年間で約10億円の維持費と今後多額の修繕費が必要だと、企業誘致やテーマパーク等への提言もあった(④開設から18年間で修繕費を含め約4億円と判明。財政課調べ)。

町長 「売却や他の利用方法も」と答弁しているが、62億もの巨費を投じた施設。「何のために造ったのか」と転換や売却には相応の責任追及を覚悟する必要がある。

町長 焔の博覧会の主会場だった。今後も町で維持できるのかと当初から様々な意見があった。最良の方策をとりたい。

その他の質問

◇住民主役の条例改正について



松永 俊和 議員

若者対象に低家賃のアパート建設を

答 町営アパートは空きがある、計画はない

まちづくり事業

ことで空家対策は十分対応できると思う。

議員 新しい体制で、町全体を対象にまちづくり事業が行われている。まず、内山地区での進捗は。まちづくり課長 内山地区では6月から旧内山10区の区長、総区長などとまちづくり検討会を開いた。1回目は地区の行事や資源などを把握し地域カルテの作成、2回目は今後のまちづくりへの期待や課題について「生活・福祉」・「教育・文化」・「商工・観光」と3班編成に分かれ聞き取り、3回目は住民の役割や行政がやるべき事など検討した。

議員 その中で、高齢者・空家・小学校改築問題・交通弱者・買い物難民、人口増加対策など、いろいろな意見がでたが、まずは空家と人口増加対策が重要との意見が多かった。町長の考えは。
町長 交流人口を増やす



▲若者対象に低家賃のアパート検討を

議員 商店街の店舗だけではなく、高齢者独居住いや転居による空家などの活用策の一つとして新規利用者へ中古家屋の改装費・整備費を新規利用者への補助制度を整備できないか。他市町では空家の登録制度「空家バンク」を取り入れている。また空家条例の改正は。
町長 全国的な問題なので、空家問題にとらわれず「住んでよし」と思われるような施策や観光化をふくめ「訪れてよし」をまちづくりの基本に、交流人口を増やし町を活性化させたい。

議員 人口増加対策として、中樽町営アパートの解体予定後に若者向けの低家賃で住めるアパートを建設できないか。
建設課長 今のところ計

画はない。町営住宅は空き部屋があり、不足していない。
まちづくり課長 定住促進事業は26年度で終わる。他市町でもいろんな条件付きである。これに代わる施策を考えなければいけない。

JR踏切閉鎖問題
議員 旧本町保育園（現クリニック）うらにあるJR踏切閉鎖の依頼があり、6月16日にJRと町で説明会が公民館であつ

た。

この踏切は地区住民の生活道である。平成17年頃から閉鎖の意見が聞かれていたが、住民の閉鎖反対の意見で、その後はバリケードを設置・音声による警告を促す装置の設置などに対応してきた。

地区住民は毎月の回覧板配布や募参りで利用してきた。住民は存続を求めている。説明会で住民の意見として線路向こう（産業道路沿い）の古い空家がある処を駐車場にできないか、またJRのコンテナ場を利用して駐車

場には、町は住民の意向をくみ一緒に取り組んでほしい。

場にできないかなどがあった。JRと協議したのか。

建設課長 いろんな意見がありすくにまとめるのは難しい。今後は関係区や関係機関と調整の上、踏切の安全確保を図る必要がある。

総務課長 空家対策事業の枠での対応は今のところはできない。今後地区の区長などと協議をしていきたい。

議員 今後JRとの話し合いの時には、町は住民の意向をくみ一緒に取り組んでほしい。



▲存続要望がでている踏み切り

- ◆ 有田駅前地区開発
- ◆ 電柱地中埋設化計画
- ◆ 公園管理について
- ◆ 有田ダムの環境整備
- その他の質問

コミュニティバスの効率的運行を

答 地域公共交通会議で協議する



古賀 四郎 議員

四百年事業

議員 8月11日に実行委員会が開催されたが、今後はどう進めるのか、次の開催日をどう考えるのか。

町長 県や関連先との協議が必要だが、私案として秋のおくんち頃が望ましいと思う。
議員 宮家において頂くことはどう思うか。

町長 いろんな方面との調整が必要となる。今は何とも言えない。

議員 町の指針が見えないとの意見があるがいつ頃なら発表できるか。

町長 9月一杯で明示できる様にする。

議員 実行委員会での方向性の異なる意見もある。どう調整・協議するのか。

議員 32名の大所帯で集約できるのか。委員会の縮小は考えていないか。

町長 実行委員会では協議し、決定するので現体制のままで行く。

コミュニティバス事業

議員 町民参加型の事業ならば各々の町民の企画立案にどう対処するのか。
町長 実行委員会に諮り決定する。

議員 現在内山地区と戸矢方面からは各1路線しか共立病院までの直行便がない。町民は不便に感じている。

まちづくり課長 デマンドタクシー導入で、2台による運行にしたいので町民には不便をかけている。

議員 運行時間の見直しでカバーできないか。例えば町内縦断で直行便を2便にし、有田駅を中心に、時間割を見直す工夫等が必要ではないか

まちづくり課長 路線バス事業者との共存も考慮し、各方面との協議が必要となる。地域公共交通会議で協議する。

議員 みどり坂Qタウンの小学生のバス利用時の

料金は特別な計らいはできないか。
町長 保護者、学校等で協議する。
議員 町から年約2千万円を補助しているが将来的には指定管理者導入の考えはないか。
町長 現状では無理である。



▲ 2台運行となったコミュニティバス

るが取り組みは。商工観光課長 国や県が事業主体となる。有田町は焔博会場で伝統工芸品の展示販売等が行われる。町内の店舗で産地とコラボして展示販売を考えている。

議員 後継者育成や技術の伝承を考えるには伝統工芸士の協力が要だ。そのためには作品の展示や販売、広報等での援助が必要ではないか。

町長 得意分野で技術者として有田には必要な人材であり、どの様な支援ができるか考える。

幼稚園児家庭の支援体制

議員 現在は年長者が未就学児の場合、第2子、第3子のいる家庭で補助制度の恩恵を受けるのは極少数である。今年度、国の体制が大きく変わると報道されたが、町は他市町にさきがけて年長者の制限を小学六年生まで

引き上げる事はできないか。
町長 子育て支援は大切全体を見ながら、有田町で子育てしてよかったといわれるような町づくりをしたい。

議員 国は子育て支援と地方創世に力を入れ、予算規模も7千億円の要求が出ている。是非導入を期待する。

議員 6月議会でも取り上げたが、石場採石場の整備はいつになるか。
町長 現在も採石はしているし、砕け目に水が溜まり崩落の危険性が強いので危険性がなくなるのを見守りたい。

議員 石場整備は400年事業の中心であり、町民の願いでもある。一刻も早い決断をお願いする。

石場採石場

議員 400年事業のプレ事業と位置づけられ期間が秋の陶磁器まつりと重なり、相乗効果が期待でき



金武 康男 議員

全技連 ろくろ技能士検定廃止決定？
この問題解決なしで何が400年祭か

答 有田再生は匠の技、国会議員と相談し対処する

歴史公園指定管理

議員 文化事業は選定委員の期待に叶っているか。

町長 これからはきちんとやっつけていかれると思う。

議員 雑草に覆われた公園周辺の管理状況を見ての感想は。

町長 以前と比較すると問題かと思う。

議員 スタインウエイピアノ修理のその後の対応は。

課長 現在クラブアート社が修理中。鍵盤取替は中止し90万円の減額見込。修理後スタインウエイ会員の検査を受け、1年保証。

町懸案の大型事業

議員 400年事業として、駅前到新庁舎建設を。

町長 駅前活性化等いろいろな角度から検討している。

議員 有小改築は保育園

や高齢者施設等と併せ構想をまとめるべきで。

町長 400年事業との絡みで早急にまとめる。

議員 南部工業団地は企業誘致が見えてから造成すべきである。

町長 県との協議が前提だが、そのようにしたい。

議員 文化体育館は屋根の他も殆ど老朽化している。別の場所に移築したほうが経済的である。

町長 補修で30年以上持てば、修理と考えている。

議員 電線地中化も良いが、内山地区の史跡・街路・駐車場の整備や空店舗の問題などの解決を優先すべきである。

町長 地中化は内山の町づくりの契機となればよいとした県の提案である。

議員 県の工事であつても町が主体性を持つべきである。

施政方針と400年祭

□デューサーの問題。目的を達成するための組織としたかった。



▲セラミー

議員 施政方針は余りにも総論的・抽象的で具体性を欠いた。400年事業の一貫として有田焼マイスターを提案されたが、国家検定ろくろ技術が廃止された。近い将来、有能な技術者は皆無となり、有田の伝統は危機的状況である。この問題解決なしに何が400年祭か。

町長 有田焼の再生は匠の技に掛かっている。国会議員と相談し対処する。

議員 400年祭で、新町長として一番の課題は。

町長 事業の進め方とプ

議員 町長は400年事業の大幅見直しを行い、未だ廃止されていない。今後、理事会に代わる組織は。

町長 事業ごとにプロジェクトチームを作る。そのリーダーと有識者で協議する組織を作り、実行委員会に審議して頂く。

議員 有田焼発祥のルーツである中国と韓国は別格。将来に向かった密接で継続的な交流をすべき。

町長 既に、韓国の公州市・金海市や中国の唐山市・景徳鎮市の有力者と交流を進めている

議員 今後も業界や町民から色々なプロジェクトが提案され、事務局は全て対応する必要がある。その意味で、副町長はできるだけ早く選任すべきである。

町長 ハード事業については各担当課で行うので問題ない。

議員 昨年末、窯業4団体から前町長宛て要望書が提出されている。

① 客寄せでなく、400年以降につながる事業を
② 県と協調して窯業活性化と内需拡大策を

③ 一過性のものでなく、今後100年の町づくりを。
④ 有田町の身の丈に合った予算での事業を。

この4つの要望は、まさしく町長の基本計画見直しと同じ方向にある。

今後4団体や会議所と胸襟を開き、大いに協議されて実行委員会が早く機能することを希望する。

ふるさと納税特典の取組みは

答 町のHPに掲載できる体制を作りたい



原田 一宏 議員

町税の納付状況

議員 集合税納付方式（町県民税・固定資産税・国民健康保険税をまとめて納付）から税目別納付方式に変わって2年経つが、納付状況はどうか。

税務課長 各税ともに集合税時（平成23年度）に比べ現年徴収率、滞納繰越徴収率がアップしている。要因として納付方式に影響なくコンビニ納付など納付機会の拡大、県滞納整理推進機構との連携及び徴収ノウハウの習得による滞納処分の徹底、延滞金加算などが効果として現われてきている。

議員 滞納対策の一連の流れは。

税務課長 期限内に納付がない場合は、期限後20日以内に督促状を送付、その後も納付がないときは随時催告書を送付する。同時に滞納されている方の財産の有無・価値等を調査（法令により事前

年度	有 田 町		玄 海 町		平 戸 市	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
20	15	2,090			37	1,454
21	10	1,625	45	300	28	2,400
22	12	1,648	183	1,066	30	1,248
23	5	250	393	2,853	24	845
24	12	515	741	4,168	36	1,077
25	26	1,550	1901	248,594	1467	39,108
26	14	4,000				

ふるさと納税額 有田町との比較（単位：千円千円未満四捨五入）H26年9月10日現在

解不要）、そこで発見された財産を差し押さえ、その旨を通知する。差押財産は換価により金銭に換え滞納額に充当する。

議員 町税収入増や大幅な収納率アップ・滞納率の減少には限りがある。そこでふるさと応援寄付金（ふるさと納税）がある。納税状況はどうか。

税務課長 左表のようになっている。

議員 玄海町と平戸市のふるさと納税の状況を表に掲載しているが、昨年大幅に伸びている。HPで掲載してあるが、納税者への「お返し（特典）」が充実しているのが主な原因である。有田町のHPでは特典の取組みが乏しい感じがする。玄海町や平戸市へふるさと納税の研究に行っているのか。

総務課長 HPは検索しているが、出向いての研修はしていない。今後検討したい。棚田米・果物・漬物・畜産関係・やきものなど協力いただける方を公募し、HPに掲載できるように体制をつくっていききたい。

議員 納付方法の簡素化はどうなっているか。

総務課長 手軽な手続きのシステム構築をすべきと思う。情報収集して、早く実施できるようにしていきたい。

防災対応

議員 町内の土砂災害への取り組みは。

総務課長 大雨洪水注意報や警報が発令された場合、庁舎内で警戒態勢をとおり、有田川の水位調査や危険個所の巡視など情報収集にあたる。また、消防団とも連絡を取り警戒にあたるようにしている。土砂災害警戒情報が発令された時は、情報伝達を行い、現地情報の状況により避難勧告・避難指示を判断して、関係各区・地区長に連絡するようになっている。

議員 有田町でもハザードマップが作成されているが、いつ作成されたものか。

総務課長 平成21年頃作成されたと思う。

議員 有田町の土砂災害危険個所は49カ所であるが、地元のごとは地元で聞けというように、町内各地区と連携してハザード

マップの作成ができないか。

総務課長 県でも土砂災害危険個所を調査している。その結果を踏まえ、各地区の自主防災組織とも連携し、危険個所の現地確認ができるように、地区と協力・要請し、ハザードマップの作成をしたい。

議員 大雨の時は雨音や風向きで防災行政無線が聞き取りにくい。無線の個別受信機の購入はどうなっているか。

総務課長 標準型受信機で4万円（税抜き）ほどで、1/2の補助がある。設置工事費は個人負担である。

議員 災害発生時のサイレンは。

総務課長 警戒的な情報を流すときはサイレンが鳴り、緊急を要するときには、加工された女性の声から、男性の声に変えて声がより通るようになっている。



松尾 佳昭 議員

窯業関連零細企業の施策を

答 産業として利益を出せる仕組みを考える

財務

議員 財務運営の目指すべき姿として、どう考えているのか。運営しているのか。400年事業も控えている。また、南部工業団地、有小建設、有田駅周辺開発など大型事業も控えているが。

町長 1期4年ではなく1年1年を単位として、山積する課題を重点的に対処していきたい。国・県の補助金、地方交付税などを有効に利用したい。借金は増やしたくない。400年事業は身の丈に合った事業にする。そうしたい。

400年事業

議員 人材育成について。役場の中でも学芸員の人材育成が必要だが。
教育長 課長、副課長にはプライドを持って何事にも当って頂いている。

人材育成は非常に大事だ。文化財課長 長年の経験が必要だ。次の若い世代に伝えていかねばならない。議会の後押しもお願いする。

議員 窯業関連零細企業の対策を。表には出ずにしっかりと有田焼を支えて頂いている企業にこそ町の施策が必要だが。古くなつた型などの産廃品の処理なども課題であるが。

町長 産業も地域も人が大事だ。問題意識をもって400年事業に反映させていく。産業として利益を出せる仕組みを考えていく。400年の重要な課題だ。
議員 町も有田焼での乾杯条例を制定した。乾杯条例を制定した各自治体との都市サミットなど400年事業で開催などできないか。

町長 世界遺産になった日本食や、飲食店組合との連携もある。思いを同じくする人の集いは検討してみる。

議員 観光面の強化で、外国人向けに免税店の支援などは商工会議所と連携してできないか。
商工観光課長 嬉野市では消費税の免税。申告の支援、売り場改修などで50万。状況を見ながら検討していく。

議員 ICTを活用した教育行政に大きな予算が付き始めている。400年事業として、大きな事に取り組めないか。
教育長 提案先の学校とも協議しながら中身を詰めていきたい。

議員 いま町内には国内外から多くのデザイナーやクリエイターが訪れている。デザインのメッカになるべく動いている。交流人口を増やすことは町づくりにつながるはずだが。

商工観光課長 企業、個人とのマッチングの問い合わせがある。店舗、空家などのマッチングの施策を検討していく。



▲有田の未来について考える町内外の若者達

議員 400年事業実行委員会で決定した事業をほぼ見直される。実行委員会に具体的な事業の説明、ロードマップ、事業の流れ、予算を明示すべきだ。いつまでに提案するのか。

町長 事業案、予算案を実行委員会には提示できない。まだ時間がかかる。要件を満たした事業がでてくる。確認、承認、サポートという流れ。10月の時点では基本的なものを出す。
議員 400年は通過点である。地域活性化としてあ



▲学芸員から説明を受ける子供達

らゆる事業に取り組む（社会資本・道路整備、歴史検証など）と答弁された。400年事業のゴールはどこにあるのか。どういう状況がゴールなのか。何年後なのか。町民にしっかりと語らるべきだが。
町長 2016年の400年祭は秋までにすべての準備を万全を期す。短期、中期と事業の予算組みも必要。この産業が将来に再生し、充実発展するいい機会だ。知恵を集めてあらゆる事業に取り組みたい。

農業施設の改修計画は

答 調査検討していく



立部 正則 議員

西有田中学校 体育館の雨漏り

議員 西有田中学校の体育館は、平成18年3月に町内産木材を使用し建設されて、まだ8年しか経過していないが、雨漏りしていると聞いた。現状は。

学校教育課長 平成18年に総工費3億2000万にて改修された。昨年度も雨漏りがあったようである。今年度7月17日に写真付きの報告があった。漏れた箇所の写真でありどこから漏れたか分からない写真だった。再度8月4日に雨漏りがしているということと、確認した。バスケットボールのゴールの取り付け部分の南側と北側に計5カ所を確認している。それと、玄関側の廊下部分にも雨漏りの跡があった。2階の観覧席の壁側にも雨水が浸入している処が確認された。8月26日に施工業者と設計監理した業者に確

認させたが、原因を突き止めることができなかった。9月4日に専門業者と確認したが、原因はつかめなかった。現在、柱と腰壁の一部を剥ぎ取り確認中である。

議員 漏っていることは間違いないが原因がつかめていないということか。

学校教育課長 ある条件で漏れると思われるが、改築10年を経過しているわけでは無いので保証の期間内である。保証期間内に設計上のミスなのか、施工上の問題なのか結論を出したい。



▲ラバーダム

農業施設

議員 今年は、雨が多かったが、有田町の災害状況は。

農林課長 溜池の堤体陥没1カ所。農地、農業施設の被害は正確に把握していない。数カ所の水田の崩落は確認しているが、災害の申請箇所は把握していない。

議員 農業施設の大きな物として、溜池とラバーダムがあるが、どちらも防災面で役目も背負っていると思う。まず溜池について、町にはどの位の数の溜池があるか。

農林課長 旧有田町で58、旧西有田で138である。

議員 町では200位の管理になると思うがその中で改修の必要性のある所は何箇所があるか。

農林課長 1億円以上の金額が必要な大きな溜池は、大谷溜池が現在申請中で樋杣川溜池が今年度で終わる。中規模が3地区ほど上がっていたが事業実施に至っていない。

議員 溜池の地元負担金はいくらか。

農林課長 受益面積が10ha以上の条件で今年より国の補助率が5%アップして国55%・県30%・町13.2%・地元1.8%となっている。

議員 それでも地元負担金は大きい。現状農業では、利益が出ていない。

議員 溜池が防災面に貢献しているならば防災という面で予算を計画して欲しい。

農林課長 他の市町に比較するとかなり努力した予算になっていると思う。

議員 他の市町に比較すれば良い予算ということだが、中山間ということの地域ではかなりの負担になっている。

議員 河川にはラバーダムが設置されている。これも農業用水の確保と周辺の安全用水を兼ねているが、これは昭和42年の水害後に全て同時期に

設置されている。かなり老朽化が進み補修が必要と思われる。今迄どの位の補修を実施したか。

農林課長 町内には8カ所のラバーダムがある。42年水害の後河川の改修と農業用水の取水の統廃合で設置されている。補修は町で把握しているのは8回で、他に地元で修理されたものである。

議員 設置したメーカーは撤退していると聞いたが改修が必要な時は、同じ物ができることは有り得ないのか。

農林課長 作れるメーカーは把握していない。

議員 新しい工法は検討されているか。

農林課長 農林事務所と検討しかけたが、かなり条件が厳しい。今後準備が必要と認識している。

議員 河川にはラバーダムが設置されている。これも農業用水の確保と周辺の安全用水を兼ねているが、これは昭和42年の水害後に全て同時期に



手塚 英樹 議員

有田に賑わいもたらす通年観光は

答 おもてなしの心でリピーターを増やす

通年観光

議員 現在の取り組みは。商工観光課長 平成8年以降、春の雛のやきものまつり、ウインドブディスピー大会、秋の陶磁器まつり、年末の碗灯など町民の観光へ意識も高くなってきている。

議員 通年観光は一朝一夕にできない。町内に賑わいを感じるのは1000人が町内を散策しているとき。有田の観光資源を再開発して地域の人達が集まり発信できる場所が必要だ。

商工観光課長

有田観光協会では集客に力を入れていく。「ありたさんぽ」にも色々なコースがある。地域の皆さんと魅力あるコース



▲内山歩き

を作ったらと思う。たとえば、李参平公の足跡コース、南山地区では人間国宝さんと会えるかもコース、また女性会では色々な趣味のグループがある。その情報など一元化した発信には観光協会が適している。それらを積み上げて通年観光になる

議員 町長の考えは。町長 有田にはオンライン・ナンバードワンの歴史・文化・産業ある。それらと史跡を組み合わせて

て町民がおもてなしの心でお迎えしてリピーターを増やして通年観光に繋げたい。

400年事業の実行委員会

議員 400年事業の予算は実行委員会が決まるということか。

400年推進課長 そうだ。

議員 実行委員会で決定したことは、町長が言う「町民の主体」であることと良いか。町長 実行委員会に報告承認の手続きは行ってきた。

議員 それは町民の声が入っている事で良いか。町長 そうだ。

議員 8月の実行委員会で理事会は開催されないことになった。これに代わる組織が必要だ。

町長 必要となったら組織する。

議員 実行委員31名が何度集まるのは大変だ。理事会に代わる組織を早

急に考えて欲しい。副実行委員長と話し合いは十分なのか。

町長 8月末で体制が変わったので、これからだ。

議員 8月の実行委員会で町長が提出した事業を、次回実行委員会までに組合・企業で検討するだけか。

町長 何度も申し上げるが事業を認めてくれとかではない。事業の内容と予算案をちゃんと示して、皆さんに諮る。

議員 実行委員会の議事録ではこの案を持ち帰り検討するとなっている。10月の実行委員会は混乱するが。

400年推進課長 町長の発言は、事業の内容を詰めて提出することである。

議員 本来は8月に予算事業内容まで提出すべきであった。次回実行委員会に向けて事務局から委員に連絡を。

議員 会議の冒頭に委員から「この実行委員会は

解散するのか」との質疑があった。事務局からその経緯と説明を。

400年推進課長 理事会を3回開催、実行委員会及び理事会では体制の見直し、事業の見直しの話はあった。理事会では議決できないので実行委員会

ですべきとなった。また体制は、有田町役場が実行委員会に代わって事業推進を各課が行うとの組織変更などが理事会で話し合われたかと思う。

議員 やっと動き出した実行委員会なのでぜひ前に向かって頂きたい。350年の時は今日より明日が良くなると確信していた。大変な閉塞感が漂っている有田、この400年事業で子供たちに夢と希望を持たせたい。

町長 有田の観光資源を再開発して地域の人達が集まり発信できる場所が必要だ。

有田観光協会では集客に力を入れていく。「ありたさんぽ」にも色々なコースがある。地域の皆さんと魅力あるコース

“副町長” 早期選任により 町長のトップセールスを！

答 時期が来たら、すぐにも選任する



梶原 貞則 議員

議員 現在、副町長が不在である。県内では、基山町が以前、副町長を設置していなかった時期があったとのことで、尋ねてみたところ「副町長不在によって、お願ひ事や陳情等も滞る。また、町長も町の事務処理などに追われて、対外的な交渉、陳情が十分にできない」ということで、副町長を置くことになった」とのこと。また、4月の町長選挙での出陣式での応援演説「2年後は有田焼創業40年の記念すべき年、町長には、創造するセンスを持ち、全国を飛び回って発信できる山口さんしかない、有田焼浮揚のチャンス逃してはならない」と新聞に掲載されていた。この記事を見て、山口町長に投票した人も大勢いるはずだ。町民は、町長のトップセールスによる有田焼の浮揚を望み、期待している。早急に副町長を選任し、町長はトップセールスをしていただ

きたい。

町長 今、改善・改革のため、町のすべての業務の把握をしようとしている。その中で、副町長が必要と判断する時期が来たら、すぐにも選任する。

「PFI方式」による 町営住宅の建設を

議員 定住促進対策を進める、みやき町では、民間ノウハウを生かす「PFI方式」を町営住宅の建設・維持管理に採用し成果を上げている。3月完成の24戸は、入居率100%で、「4月の人口伸び率が県内自治体で1位と速報も出た」とのこと。「PFI方式」とは、民間との特別目的会社と契約し、町の遊休地に町営住宅を建設。建設費と維持管理費を国の補助や家賃収入で分割して支払うため、一般財源の持ち出しゼロ、とのこと。有田町でも、この方式による

町営住宅を建設し、人口増に繋げてはどうか。

建設課長 現状の町営住宅など、いろんな状況を見ながら、今後建設が必要となれば、「PFI方式」を検討したい。

議員 みやき町では、スパーの近くや学校の近くなど、子育て世代に好立地の場所に建設し好評であるとのこと。有田町でも、本町保育園跡とか、好立地な遊休地もある。また、有田小学校を改築する内山地区に建設し、人口増、学童増に繋げていただきたい。また、この「PFI方式」は、福祉施設や学校、図書館、官公庁に至るまで適用分野は多岐にわたる、とのこと。今後検討される、体育館や学校、庁舎などにも生かしていただきたい。

町長 今、町内の施設の全体を見直しているので、導入するところがあれば検討したい。



▲みやき町のPFI方式の町営住宅

400年祭を機に有田の浮揚を

議員 昔の小学校の教科書には、柿右衛門の物語が掲載されていて、日本中のだれもが有田焼を知っていた。だが、今の有田焼の認知度は、昔と比べてかなり落ちていて、特に若者は知らない。2年後の400年祭は、日本中は基より、世界中に有田

焼を知らしめる絶好の機会である。そのためには、ある程度のイベントの開催による情報の発信は不可欠である。400年に有田に来ていただく、また、NHKをはじめ主要メディアに流していただくことで、有田の通年観光、有田焼の

浮揚、活性化につながることを思う。以前、町長が言われた“有田サローネ”は開催されるのか。
町長 町民や有田焼業界と相談しながら、事業を構築していきたい。もちろん、“有田サローネ”は開催したい。



浦川 友喜 議員

町民憲章の制定、施行を

答 新しい町にふさわしいものを検討する

町民憲章

議員 町民憲章とはどのようなものか。

総務課長 憲章とは重要な基本的なことを定めた取り決め。重要なことがらに関する掟、根本的な原則に関する決まりとなっている。実現したい良いことを想定し、志をのべるため、法律のようになかたぐ、くどいものでなく、わかりやすく、親しみやすい内容である。人ひとりの町民がさまざまな局面において、自分のできることを見つけて、それを自主的に気持ち良く実現しようとすることを誓い合うために定める。町民としてあるべき姿の宣誓、町づくりの参加意欲を喚起し、町の理想像を掲げて、達成目標を示し、個々人の生活を快いものにするための社会的な努力目標を示すようになっていく。旧西有田町では昭和40年

4月1日町制施行により誕生し、昭和61年3月に町民憲章を制定している。

議員 旧有田町には町民憲章のようなものはなかったと思う。合併10年足らずであるが、有田焼創業40年祭を盛り上げ、成功させるためにも、ま

ず旧西町民が絆を深め一丸となって取り組んでいかなければならない。町づくり、人づくり、物づくりの面からも、制定施行の絶好の機会であると思うが。

町長 町のあるべき姿、進むべき道、町民皆さんの役割、人々の生業までわかりやすく、新しい街にふさわしい町民憲章ができるように是非検討させてほしい。

議員 旧西有田町では目に見えない形として施行され、その取り組みの中から「結の心」が育んでこ



▲西有田町民憲章

られたと実感している。**教育長** よりどころ、目指すべき方向を示したものと。この取り組みを検討していくことは有意義なことだと感じている。

有田焼創業40年事業

議員 実行委員の變動は。40年事業推進課長 現在のところ變動はない。

議員 事業実行計画が見直されているが、実行委員会に西地区の委員の追

認はできるのか。**町長** 必要であれば、追加も検討する。

議員 白川釉石場は町民でも知らない方も多い。40年事業を機会に開発と文化財の指定を。

文化財課長 町の貴重な財産であるが、現在崩落の危険もあり、立ち入り禁止となっている。いつ頃から掘られたか定かでないが、今後使用も考えられるので文化財指定はないものと思う。

議員 西地区でも多くの文化財が指定されているが、その中でも400年の歴史を持つ、坂の下遺跡を公園化できないか。

町長 曲川、大山区代表者の方と町づくり、町の魅力、歴史も含めて考えていきたい。

議員 相撲は磁石場の神様に奉納することから始まったと聞いている。400年事業の中で大相撲の紹致を是非お願いしたい。**町長** 検討してみる。

観光行政

議員 西地区の農産物の販売ができるような、観光客は勿論、地域の皆さんがゆつくり、くつろげる憩いの場が欲しいと多くの要望があっている。東庁舎跡地活用は。

まちづくり課長 現在のところ恒久的な建物は作らず、駐車場、催し場として活用、内山区区まちづくりの中で検討したい。

議員 町内観光客へのガイド料を無料化(町補助事業)にできないか。

商工観光課長 観光協会へ補助もしている。その中からガイド料も支払われていると思う。

議員 国道35号線から県道泉山地区に入って100m程下の所に広場があるので、そこに有田町の全体的な大案内看板の設置をお願いしたい。**商工観光課長** 必要であるのか検討してみる。

相談、通告を最大限に生かせ

答 虐待防止啓発を実施



福島 日人士 議員

児童虐待防止法

議員 虐待は「疑い」の段階で「通告」を義務付けている。2013年度全国児童相談所が対応した件数が7万件、警察からの通告のうち子供の前で配偶者に暴力をふるう「面前DV」が4割に近い。育児放棄で自宅や路上に置き去りにされた子供が2011年度から3年間で全国に395人もいる。有田町の状況は。

健康福祉課長 有田町における3年間状況は平成23年度23件、平成24年度26件、平成25年度35件、その内訳は平成25年度ではネグレクト19件、心理的虐待7件、ネグレクトの件数が多い。ネグレクトとは、家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、病気になることも病院に連れて行かないなどで、有田町では、食事や衛生面など育児放棄が主な状況だ。

議員 児童虐待の増加の背景に貧困がある。雇用問題や福祉からのアプロ

健康福祉課長 25年度の児童虐待件数は36件で、発覚の内訳は保護者からの相談1件、保育園・学校からの連絡15件、近隣からの通報10件、役場の検診10件である。母子保健推進員や保護者向けの研修会などを開き対応者のスキルアップを図る。

議員 新聞などで報道され、ご存じのかたも多数いる。虐待のサイン届かず

虐待のサイン届かず

議員 新聞などで報道され、ご存じのかたも多数いる。

ると思うが胸の痛みを明かす事なく14才の少年が自ら命を絶った。学校は児童相談所に通告せず、サインは見逃された。小学校の卒業文集には運動会で応援団長を務めたことが誇らしげに綴られてあり、中学校でも頑張りたいとめくくっていた。児童は運動会の3日後から不登校になり、中学校は、父親からの暴力に二度気付いていたが児童相談所へ通告しなかった。対応が後手に回り命を守れずに申し訳ないと非を認めた。どうすれば救えたのか。

教育長 どうすれば救えたのか、誰でもが、子供達の健やかな成長を願っている。児童虐待を行う大人がいる事を残念に思っている。虐待を受けた子供は、それからの成長に多大な影響を与える。又連鎖をする。児童虐待を私達は絶対に許してはいけない。

ゲートボール場環境

議員 現在練習日以外ゲートボールは西、東協会、伊西地区、山内町と1市2町で毎月大会を行っている。グラウンドゴルフは西地区の地域だけで使用。雨天の場合は現在の状況では手狭で屋根の増設が必要である。別の場所

健康福祉課長 ドームは有田町民憩いの広場、設置目的は地域住民の健康維持、増進を図ることで、地域高齢者の方に殆ど毎日利用して頂いている。その状況を見ると、午前中ゲートボールの方が20人弱、午後からグラウンドゴルフの方が25人ほど、利用されている。今の所

設置目的を十分果たしている。



▲ゲートボール場

雨水対策について

議員 風雨の時雨水が溜まり大会等ができない時もある。対応を。

健康福祉課長 上の段は駐車場と民家で、雨水が、のり面の水抜きパイプから入り込んでいる状況である。200ミリのパイプから出る雨水を外側側溝へ流す対策と屋根の枯葉対策も行った。



今泉 藤一郎 議員

11月20日～24日 伝統的工芸品 全国大会
メイン会場焔の博記念堂

答 多くの方に観て欲しい

イノシシの処分と焼却施設

議員 9市町で県西部環境組合を結成し、広域化でゴミ処理を行う理由と目的、含めてメリットは。
環境課長 24時間連続の稼働施設で、ダイオキシンの排出が大幅に削減できる。

全体事業費160億円の内、国から40億円が交付され、差し引き120億円の内、有田は9%、約11億円の負担となり、事業費の縮減ができる。

ちなみに、平成6年に稼働した現在のクリーンセンターは18億円の費用を要した。施設は、老朽化の一步手前である。

議員 平成24年度は、町内で猪の捕獲は496頭だったが、平成25年度の有害鳥獣、捕獲頭数は。

農林課長 平成25年度は猪670頭、狸80頭、アライグマ80頭、アナグマ30頭の計860頭の捕獲である。県全体では昭和62年に猪

780頭だったが、平成3年が148頭になり、平成22年には2万6016頭の捕獲となった。

議員 捕獲した有害鳥獣の火葬を、もしペット斎場にお願ひすれば年間約300万円の費用が必要。今後捕獲頭数が増えれば、その費用も増える。

他の市町のように埋葬するのは、環境面から考えた時にどうかと思う。そこで、町が所有する遊休地に鳥獣等の火葬炉施設300万円ほどで建設する考えはないか。

農林課長 埋葬、焼却等費用対効果も含め、猟友会とも協議していく。

町長 農作物等への被害もあり、猪に対する抜本的な対策が必要。有田町独自で建設する事も含め、関係者の皆さんと協議する。

介護保険料負担の抑制

議員 国保も介護保険料も、この2年間で約10・47%伸びている。本年度は介護保険事業計画の策定となっている。第5期目は月額1180円増で、この伸び率を基に試算すると、来年4月から向こう3か年の保険料は、65歳以上の基準値で月額1500円程度上昇し7300円となる。年額で8万7600円程度だと、予想するが。

健康福祉課長 1号被保険者と2号被保険者数の割合でも変わってくる。

前期の伸び率からするとそのようになるが、ただ制度が変わるので非常に難しい。

議員 4月から消費税が8%となり、その上、諸物価の高騰、地方経済の疲弊で町民も喘いでいる。平成25年度は介護保険に一般会計からの繰り入れが約2億8900万円だったが、保険料の抑制を図るため、

更に増額が必要と思うが。

町長 パーセントは低いが一人当たり年間に介護は200万円で、後期高齢者が93万円の費用を要している。健康や生きがいづくりに向け総合的な施策によって、この医療、介護の問題についてはむしろ減額できるように持って行ければと思う。

町民の皆さんが多額の負担とならないように、予算も含めて検討をしたい。

議員 利用者に負の影響が生じないように、今後もしっかりと取り組んで欲しい。

第31回 伝統的工芸品全国大会

議員 11月20日から24日まで5日間にわたって開催される。メイン会場は焔の博記念堂だが、町が負担する費用とその効果は。

商工観光課長 国の伝統的工芸品で木工、紙製品等の展示・販売もある。町の負担は450万円。県の試算は560万円の経済波及効果がある。

町内でも産地間コラボを行い、無料の巡回バスもあるので、是非多くの方に観て欲しい。



▲伝統的工芸品全国大会の昇り旗

「地域包括支援システム」の構築は

答 2025年へ向け、対応したい



蒲原 多三男 議員

有田の高齢化の現況は

議員 平成25年版、内閣府の「高齢社会白書」によると75才以上が18%になり、65才以上の方が30%に、2025年には、いわゆる団塊の世代が75才を超える。更には一人暮らし高齢者も今後増加すると見込まれる。町の状況は、健康福祉課長 65才〜74才までが2890人、75才以上が3283人となっている。高齢での単身世帯は1168人で夫婦いづれかが高齢は877世帯だ。

地域包括支援システムとは

議員 社会保障費の見直しや、介護の担い手不足も予想される中高齢者が、住みなれた地域で自分らしい生活を続けられる新しいケアシステムの構築は喫緊の課題と思う。この「地域包括支援システム」とは、

健康福祉課長 在宅介護・在宅支援や、地域での医療、介護、介護予防、生活支援、住宅の充実に

より、在宅での高齢者の方が生活できるシステムだ。

議員 今年6月に国会で、医療・介護総合推進法が成立。「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」として19の改正案をまとめた一括法であるが、

町民・利用者にとっては何が変わるのか。また、現在進められている第5期の介護保険事業計画の進捗は。

健康福祉課長 第5期中でも、地域包括支援センターの整備も含まれ、現在は生活支援として、栄養改善事業、訪問介護予防事業をしている。

議員 町の要支援者・要介護者の人数は。

健康福祉課長 要支援者の方は279人、要介護者は933人だ。

議員 要介護・支援の方の今後の推移と、第5期中で施設整備が計画として進行しているものがあるのか。

健康福祉課長 2025年へ向けては大幅な伸びがあると思う。第5期の施設整備については入っていない。

議員 国としては平成26年度予算に地域包括システムづくりのために各種の予算をかなりの額で組んでいるが。

健康福祉課長 現時点では県からも何も来てないので第6期の計画の中に交付されるのでは。

議員 鹿児島県・茨城県では、地域の方が高齢者のケアに取り組んでいる例もあり、民間事業者が高齢者のための住まいを提供している。有田独自のシステム構築を。

町長 今後の高齢化社会の中で有田町の地域包括支援システムの構築をやっているかと思う。

がん予防の推進は

議員 「がん予防対策基本法」が平成19年に施行され、5年を経過して平成24年から新たに、がん対策の総合的・計画的な推進を図るために、がんに負けない社会を目指すことを趣旨として定めている。現在、町のがん検診の状況と今後の取組みについては。

健康福祉課長 全世帯へ3月中旬にがん検診の案内・お知らせを出している。その中で受診率は45〜50%だ。より多くの町民の検診のために健康アンケートなども検討していく。

ピロリ菌検査の助成は

議員 がんの中でも、胃がんはピロリ菌の除去で、かなりの確率で予防できる事が証明されているが、ピロリ菌検査に対する助成は。

健康福祉課長 ピロリ菌は40才以上の方が保有されている。



町長 がんについては早期発見、早期治療が大事と思う。ピロリ菌検査については、検討する。

有田焼創業400年事業会議の推移

2014年3月28日 第12回実行委員会 基本計画について

内容 2014年

9月 記念シンポジウム

11月 400日前カウントダウン

2015年

国内市場開拓事業

11月 陶磁器職人サミット

12月 大晦日カウントダウンイベント

2016年

オープニングイベント、世界陶磁器コンテスト、クリエイター・イン・レジデンス

記念式典、世界陶磁器フェスティバル（夏～秋）

以上基本計画 決定

6月3日 第6回理事会 議案 事業見直しについて

6月定例議会 400年事業に関する 一般質問9議員

30日 第7回理事会 議案 事業見直しについて

7月17日 第8回理事会 議案 事業見直しについて

8月11日 第13回実行委員会

事業計画見直し案 提出

記念式典、国内市場開拓事業、有田焼マイスター制度、陶芸作品展、

記念イヤー催事

新規事業

①記念誌制作②歴史・伝統の継承③内山地区まちづくり④有田まちかど美術館

⑤有田まるごと博物館⑥農産物特産品開発

2事業2014年3月基本計画継続

優先事業決定

①「記念式典」 ②国内市場開拓事業

9月定例議会 400年事業に関する 一般質問7議員

10月10日 第14回実行委員会

基本計画（案）改定版提出

有田400年やきもの文化大博覧会（仮称）（有田陶器市期間+数日間）

記念式典・レセプション（10月23日皿山まつり開催時期の前後想定）

国内主要都市百貨店で400年有田の魅力展

既存イベント等の拡充[有田焼創業400年を記念し、既存イベントを拡充開催]

実行委員会委員 計画案持ち帰り次回審議する



姉妹都市締結35周年訪問記

9月24日～30日

有田マイセン姉妹都市締結35周年記念事業に有田から26人の団員でマイセン市を9月24日から30日まで訪問した。

24日朝4時30分出発、約12時間の長旅にもかかわらず皆元気にマイセン市に到着。

夜はマイセン市ラシユケ市長、友好協会レオ会長による歓迎晩餐会。乾杯はもちろんプリンツさんのワイン。

充実した35周年事業になるよう訪問団はレオ会長と頑張ることを誓った。

姉妹都市会議を市役所でラシユケ市長・副市長・秘書・有田から松尾議長・深川会頭・手塚・大串課長・深江で行った。(写真①)

ワイン祭オープニングではマイセン市5姉妹都市は舞台上に、有田は松尾議長の挨拶後、血踊りを賑やかに披露した。(写真②)

有田ギャラリーは久保田議員担当 日本の遊びと文化の

紹介は来客が絶えることなく盛況だった。有田屋台は有田の名酒を振る舞い、有田焼の杯・ワイングラスの紹介を行った。(写真③)

パレードは松永議員担当姉妹都市35周年の横断幕を先頭に揃いの浴衣と法被で血踊り、沿道の大観衆に拍手で迎えられた。(写真④⑤⑥)

全事業が終了後、サンクスパーティーで有田全員とマイセンのスタッフからの合唱がいつまでも続く

周年事業に携わって今回が4回目になった。マイセン市・友好協会の歓迎に感謝、旅費を出しても参加する有田人の心意気に感謝、姉妹都市の礎を作った先輩達に感謝、更なるマイセン市との友好を確信した35周年であった。(手塚英樹)



② ワイン祭オープニング



① 姉妹都市会議



④ パレード用トラックの荷台にも友好の旗



③ 有田ギャラリー 日本の遊びと文化の紹介



⑥ 揃いの浴衣と法被で血踊り



⑤ 35周年の横断幕

マイセン訪問記

議長 松尾 文則



マイセン市を訪れた。

到着後、マイセン市長主催の歓迎食事で35周年事業のスタートを切り、オープニングセレモニーではスピーチの機会を頂いた。昨年も水害被害のお見舞いに駆け付けたこともあり市民の皆さんから暖かい歓迎を受け、姉妹都市関係も成熟期に入ったと感じた。

姉妹都市会議では40年祭式典の招待・記念ワインの醸造・マイセン磁器の展示などをお願いした。昨年4月の計画から進捗していない状況を危惧されており、日程などの早い連絡をリクエストされた。

フランスのビトリリー市・ドイツのフエルバッハ・チエコの4都市のパートナーでは今まで以上の関係構築ができたと自負している。特に通訳の方がいつもそばにいて下さり充実した会話ができた事は有り難かった。

姉妹都市35周年事業に団長として25人の訪問団の皆さんと24日から30日まで

最終日のパレードでは有田皿おどりが隊がパレードの先陣を切って登場し、4キ口続く沿道の数万人の観衆から盛大な拍手・歓声に包まれた。参加されたメンバーも大満足の様子で一ヶ月の事前練習の成果が発揮されて良かった。

祭りでは友好協会のレオ会長はじめメンバーと「有田ギャラリー」を開設し、日本文化の紹介・有田焼ワイングラスの展示・日本酒の宣伝などで多くのビジターに来て頂き大盛況であった。

空港の迎えから見送り、毎日のスケジュール調整等、友好協会の皆さんには大変お世話を頂いた。

最後に今回の訪問団のチームワークと責任ある行動・おもてなしに感謝を申し上げたい。ダンケシエーン!!

■ 議長交際費支出状況 (平成26年7月~9月)

項目	件数	支出額(円)	備考
会費	2	10,000	知事・市町議会議長懇話会会費他1件
合計	2	10,000	

議会でピックス

6月議会には、町長、議員選挙後の初議会でした。多くの方に傍聴頂きました。その時点では傍聴席も狭く、大変ご迷惑をおかけしました。

また6月議会から、一般質問の席を中央右側に移動しました。傍聴席からも質問者の顔が見え、声も聞き取りやすく良かったとの声もお聞きました。

さらに9月議会から、議員側の席の配置を改めました。既存の馬蹄形から、ひな壇式に変更しました。変更に伴い傍聴席も広くなり、35人ほどは入れるように改善できました。これまで同様、多くの皆様に傍聴頂き、ご意見・ご要望などお聞かせください。

今後も活発な議論の中から、有田町の発展・活性化に繋がる議会改革を進めていきます。町民皆様のご協力をお願い申し上げます。



▲ひな壇式の議席配置

上げます。

お詫び

6月議会だより(31号)のP19、今泉藤一郎議員の一般質問で住民課長の答弁(3段目7行目)において定員100人を定員1000人と誤記してしまい誠に申し訳ございませんでした。

(行政視察受入報告)
5/7 岐阜県瑞浪市議会
地場産業の振興対策
について
泉山磁石場、佐賀県立九州陶磁文化館、有田焼卸団地協同組合を視察。



今年の夏も異常気象や予想もしない突然の大雨、土砂災害が多発した。大丈夫と思っただけで、突然の災害で対応に困惑された方々も多かったはずだ。「備えあれば憂いなし」の言葉とおり、日頃の準備が大切で、不意の出来事や、思いもよらぬことに対処しなければならぬ。「これでいい」ということはない。この気持ちをお忘れしてはならない。

さて、「議会だより」は読者に対して、読みやすく、わかりやすく・正確に伝えることが第一である。自分はいいと思っただけでも、広報委員会ではチェック・修正されて各世帯に配布される。しかし、前号で間違いがあった。町民の皆さんに大変ご迷惑をおかけし、反省頻りである。人間誰でもミスはあるが、これからはミスを見逃さないように心掛けていきたい。(カブ)

議会広報編集委員

- 委員長 松尾 佳昭
- 副委員長 原田 一宏
- 委員 立部 正則
- 委員 手塚 英樹
- 委員 福島 日人
- 委員 久保田 均